

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 9月5日

【評価実施概要】

事業所番号	3690600014
法人名	有限会社コミュニケーション
事業所名	グループホーム ひばり
所在地	徳島県三好市井川町西井川375番地 (電話)0883-78-4165
評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成19年 9月 5日

【情報提供票より】(平成19年 8月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年 8月 12日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 常勤 7人, 非常勤 1人, 常勤換算 8人

(2) 建物概要

建物構造	木造り 1階建ての 1階部分
------	-------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	19,000 円	その他の経費(月額)	実費	
敷金	有(円) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	67 円
	または1日当たり 967 円			

(4) 利用者の概要(8月20日現在)

利用者人数	8名	男性	1名	女性	7名
要介護1	0名	要介護2	0名		
要介護3	6名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 84歳	最低	76歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	・浜クリニック	・宮佐医院	・徳善歯科クリニック
---------	---------	-------	------------

徳島県 グループホームひばり 1

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設して間もないこの事業所は、見晴らしの良い高台に建ち、庭に出ると清流吉野川や町並みが一望できる。建物横を流れる谷には鯉が住み、利用者はその成長を楽しみにして眺めに出るため、戸外での時間も多くなっている。地区の保育所との交流も深まり、隣人からは旬の野菜が届けられる。農家の方がお茶に立ち寄り、血圧測定を頼まれたり、相談を受けたりと、事業所の機能が活かされ始めている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>今回が初めての外部評価の実施である。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>設立して1年未満のため、管理者と職員が課題を出し合い、厳しく評価し、改善点を導き出した姿勢がうかがえる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>開設間もない初回の運営推進会議では、地区民生委員、地域包括支援センター職員、利用者家族代表、利用者の参加で開催され、活動状況や利用状況等についての報告や話し合いが持たれ、事業所について理解してもらえるよう取り組まれていた。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の意向はその都度対処し、不安や苦情に対しても真摯に受け止め、対処できる内容では、早急かつ柔軟に対応に取り組んでいる。話し合いを要する内容については、会議を開き検討課題として前向きに取り組んでいる。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地区内にある保育所へ「七夕集会」に出かけたり、夏には「阿波踊り連」の訪問を受けたりと地域での交流は多い。また、隣人から旬の野菜が届けられ、その際に利用者とお茶を飲みながら世間話をしたり、時には血圧測定を頼まれたり、相談を受けたりしている。</p>

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で地域密着型サービスの意義について話し合い、地域と共に歩めるホームを目指して理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の申し送り時や職員会議の時、全職員でつくりあげた理念を確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区内にある保育所へ「七夕集会」に出かけたり、地域の「阿波踊り連」の訪問があった。また、隣人から旬の野菜が届いたり、お茶を飲みを訪れた方の血圧測定を頼まれたり、相談を受けたりしている。外出(散歩)時等には、地域の人達からの声かけが有る。	○	地域の一員として、地域の行事に参加したり、地元の人々との更なる交流に取り組んでいかれたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で評価に取り組み、繰り返し話し合いをして作成されている。外部評価は今回が初めてであるが、利用者への支援を第一に、サービスの質の向上に努めている。しかし、評価を活かすまでには至っていない。	○	自己評価、外部評価をホームのケアに具体的に活かしていけるよう取り組んで行かれたい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は3ヶ月に1回開催されており、メンバーは地域包括支援センター職員、地区民生委員、家族代表、職員で構成され、ホームの活動状況、利用者の状況報告などの内容であった。会議の報告書に全職員に回覧した確認印やサインがみられなかった。	○	運営推進会議は2ヶ月に1回開催できるように取り組まれない。参加メンバーには利用者が参加できるような取り組みの工夫が望まれる。また、会議の報告書は全職員への確実な申し送りが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	月に一度、月次報告を市の担当窓口へ提供している。また、保険サービスやゴミの出し方等で相談に行き、指導や助言を受け、介護サービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等の来訪時に、心身の状況を報告したり、健康面に変化がある時や外出する場合には、電話で連絡して了解を得ている。また、利用者の暮らしを報告する際には写真を入れて送っている。家族からは1冊のアルバムにしてほしいとの希望もあった。金銭管理についての問題はない。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「意見箱」を設置しているが、今までに投函は無い。家族等の来訪時や運営推進会議等で直接意見、要望を尋ねている。得られた意見や要望は、直ぐ対応し、話合いの必要な内容は、職員会議を開き検討している。重要事項説明書文中のホーム苦情相談窓口担当者氏名の記入がされていなかった。	○	重要事項説明書文中のホーム苦情相談窓口担当者氏名に記入がされていないため、担当者の記入が求められる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	単独型のホームで開設して間もないが、職員の離職は無く、利用者の馴染みの職員が支援している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員各自での資格取得(ケアマネージャー・社会福祉士)に向けての取り組みはあるが、事業所内外で研修を受ける機会や計画が立っていない。	○	職員の経験や習熟度の段階に応じた学習の機会を計画的に立て、職員が技術や知識を身に付けられる取り組みが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者同士で話し合いをする機会があり、職員が個々にグループホームの見学に行っている。しかし、情報交換をおこない、サービスの質の向上に取り組むまでには至っていない。	○	管理者同士の話し合いの機会を上手く活かし、職員との交流や勉強会等にも積極的に参加できるような取り組みが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族の方が見学に来られたらすぐ利用になる場合が多く、その場合には職員が利用者と関わりを多く持ち、安心感を持ってもらえるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は職員と一緒に生活をしているという思いがあり、今までに身につけている風習や、慣わしを教えてくれたり、状況により手助けしたりと共に支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いを大切に意向を把握するため、日ごろの声かけなどで、確認をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮せるよう本人や家族、職員から意見や要望を聞き、それを反映した介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態変化や本人、家族の要望に応じての見直しは行っているが、新たな要望や状況の変化がない場合の3ヶ月に1回の定期的な見直しや期間に応じての見直しがされていない。	○	介護計画の遂行状況、効果などを評価するとともに、新たな要望や状況の変化がない場合でも、3ヶ月に1回、計画を見直すことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出支援や通院の送迎など本人や家族の要望に柔軟に応じている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医での医療が受けられるようにしている。受診や通院に家族が同行できない場合、家族の承諾を得て職員が同行している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化する利用者については、家族とその都度話し合いをして支援の方向性を決めている。終末期ケアについては、現在のところ家族と話し合うまでには至っていない。	○	状態の変化に応じて、本人や家族の気持ちを大切に話し合いを繰り返し、支援につながる取り組みを期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを大切にして、言葉かけや対応に十分配慮をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせて一日を過ごしている。合唱の好きな利用者が多く、午前中、きれいに合った歌声が聞こえてきた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者からメニューのリクエストがあれば、出来る限り応えるようにしている。食材の準備(豆のすじ取り、いもの皮むき)や後片付けを一緒にしたりしながら、楽しい雰囲気作りを心がけ、常時の見守りがあった。しかし、利用者と同じ内容の食事ではなかった。	○	以前は利用者と職員が、同じ内容の食事を食べていたが、現在は中止になっている。再度、一緒に食べることができるように取り組まれない。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間帯の設定をしているが、職員は、一人ひとりの意向や習慣を尊重し、リラックスして入浴できるよう心がけている。体調により清拭や足浴になることもある。	○	利用者の希望に合わせた時間や曜日に入浴できるよう、取り組まれない。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	女性の利用者が多く、家事(裁縫・掃除・洗濯ものたたみ)を楽しく手伝っている。また、明るい歌声が絶えず、歌に合わせて踊りを披露したりしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームは見晴らしの良い高台に建ち、外に出ると吉野川や町並みが見渡せる。常時、庭に出て風景を見ながら身体を動かしたり、建物横を流れる谷川の鯉の成長を楽しみにしたりしている。利用者全員の体調の良いときは、ドライブや外食に出かけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	心臓疾患があり体調不良の利用者で、帰宅願望が強く不穏状態時は、安全上家族の了解を得て、やむを得ず玄関に鍵をかける時がある。状態が安定している時は自由な暮らしを支援している。	○	利用者の思いを知り、鍵をかけないケアへの取り組みが望まれる。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策や避難訓練を実施し、消防署や地域住民の協力を得ながら実践的な取り組みの検討はされていたが、災害対策や避難訓練等が一度も実施されていない。	○	災害時の対策マニュアルの早急な整備と年2回の避難訓練等の実施が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの嗜好を把握し、献立に取り入れながら、栄養バランスに配慮している。また、食事量や水分量を個人記録に記入し職員間で共有している。定期的な栄養バランスのチェックはされていない。	○	食事量や水分量は把握出来ているが、定期的に、栄養の専門的な観点からのアドバイスを受けるように取り組んで行きたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は、天井が高く広々としており、窓からは眼下に広がる四季折々の風景が見られ、季節感を感じることが出来る。また、観葉植物や生花の飾りが感覚を刺激し、昼食の準備の匂いも漂っており、家庭的な雰囲気を感じられた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、利用者の好みや、お気に入りの写真を飾り、居心地よく過ごせるように工夫をしている。		